

Q

全国学力テストをどう生かすか

A

今後指導助言を行っていく

金泉婦貴子 議員

質問一 当市として結果をどのよう  
に分析するか。

二 小学校6年生、中学校3年生  
の結果で課題はあるか。

三 教師、保護者、児童・生徒の  
反応はどうか。

四 市内の学校間で格差はあるか。  
答弁一(教育委員長) 小学校6

年生の国語は知識、活用に関する  
問題ともに全国平均正答率を上回

ったが、算数は知識、活用に関す  
る問題ともに全国平均正答率を下

回った。中学校3年生は国語、数  
学の知識、活用に関する問題とも

に全国平均正答率を上回っている。  
規則正しい生活をしている児童・

生徒は、学力的にも高い傾向にあ  
ることが裏付けられた。

二 小学校6年生の国語は書くこ  
と、算数では知識に関する問題の

図形以外のすべてが課題。中学校  
3年生は、国語の書くこと、数学  
の数と式が課題ととらえている。  
三 教師からは、学力向上への課  
題が改めて確認された。生徒から  
は、基本的な問題が思ったよりも  
できていて安心したという声があ  
った。保護者からの反響は今のと  
ころない。

四 学校により平均正答率のばら  
つきはあるが、各校の課題を明ら  
かにし、課題解決を図っていく。

議会審議の論点情報の形成は

大変有意義であると考え

山中 基充 議員

質問一 市民生活に重大な影響を  
及ぼすことが予想される議案提出  
について、議会が求めた場合に次  
の7項目を明らかにすることにつ  
いて。  
①政策の発生源 ②提案に至るま  
での経緯 ③他の自治体の類似す  
る政策とその比較検討 ④市民参  
加の有無とその内容 ⑤総合計画  
との整合性 ⑥財源措置 ⑦将来  
にわたるコスト計算。

考えられるが、市としての考えは。  
答弁一(市長) 提案された項目  
を含め、わかりやすく整理した資  
料を事前に提供することは、大変  
有意義であると考え。  
二 早い段階から議案に関する情  
報を議会と共有することで、議案  
に対する理解が得られる。早急に  
提出資料の体系化と提出方法の検  
討を行い、次の議会から議案の附  
属資料として渡していく。  
◎その他の質問  
一 認知症サポーターについて  
二 市民協働の推進と提案型公共  
サービス民営化制度



中学校授業風景